がなくなれば」。エンターテイメントとして面白い 小説創りを基本としているが、数冊読み続けると不

思議と化学に対する親しみが沸 いてくる作風だ。

キャラの描き方重視 化学を分かりやすく

11月には宝島社文庫から自身26冊目となる最新 刊『科警研のホームズ』が出版される。初の警察科 学捜査ミステリーで、科学捜査研究所(科捜研)の 別組織である科学警察研究所の本郷分室で室長を務 めるドロップアウトした研究者のもとに、3人の研 修生が現れ、チームで事件を解決しながら、研究者 がやる気を取り戻していく話だ。

化学を分かりやすく伝えるためにキャラクターの 描き方を重視する。最新刊を含め、どの小説も登場 する人物がとても魅力的だ。名前はどうやって決ま るのか。「名字については、全国の駅の名前を調べて、 印象的なものから一つずつ採用し、なるべく重複し ないようにしている。下の名前はキャラクターのイ メージに合わせて考えている」とタネ明かしをして くれた。

現在は香川県に拠点を移す喜多さん。15年間製 薬企業の研究者として、薬創りに携わってきたが、 新薬にかかわる縁には恵まれなかった。それでも「研 究者の熱意と社会への貢献が結びつく仕事は薬創り だけであり、得がたい経験をした」という誇りが胸 に残っている。

化学をエンターテイメントで 伝える立場になり、小説を書い ているうちに、「自分の作品の世 界観にどっぷりと浸って、キャ ラクターの隣にいるような感覚 になる」のは、意外にも化合物を 創出した研究者の熱意とも似て いるのかも知れない。チームで 行う創薬とは違い、アイデアを

出して作品を仕上げるまでの全プロセスを1人で経 験し、作品を出せば読者からの反応も得られる贅沢 な達成感は、研究者から作家になった喜多さんにし か分からない。喜多さんだけが味わえる楽しみだ。

今後はいろんなジャンルの小説を書いていく予定 だ。最先端のサイエンスを組み入れた物語を書いて いくとしても、ネガティブな結末としては扱わない と心に決めている。それが、「常に楽しんでいたい」 という喜多喜久のスタイルになっている。

もし、薬学生が喜多さんのような作家になりたい と相談されたら、「デビューするまでは、自分が書 きたいものを書いて下さい」と言いつつも、「作家



今まで出版された喜多さんの作品。表紙のデザインは、書店で 目立つように出版社やデザイナーの意見を取り入れている

としてやっていく のであれば、自分 ひとりの世界では なく、小説を書く ための技術論を学 び、社会のニーズ を読み取る能力が 大切です。でない と、続きませんよ」 と、先輩としての 助言も忘れなかっ た。



前回お話したプラセボ効果に関連し て、疼痛に関する興味深い研究(PMI D:15102230) をご紹介しましょう。 この研究は、慢性腰痛を訴えている50 人を対象に、エクササイズ器具を用いて 足の屈曲運動をしてもらう、というもの です。被験者に対して「この運動で痛み が増加することはない」と説明した群と 「この運動で、わずかに痛みが増加する こともある」と説明した群に分け研究が 開始されました。

その結果、「痛みが増加することはな い」と説明された群では疼痛が減り、「わ ずかに痛みが増える」と説明された群で は痛みが増加することが示されたので す。この研究結果は、薬剤師にとっても 重要な意味を持ちます。薬の副作用につ いて、その説明の仕方一つで、薬理作用 とは無関係に、患者さんに有害な影響を 引き起こしてしまうことが示唆されるか



人徳仁会中野

侮れないノセボ効果

らです。

プラセボがもたらす有益な治療効果を プラセボ効果と呼びますが、逆に治療効 果に悪い影響を与えるものを"ノセボ効 果"と呼びます。簡単に言えば、患者さ んの思い込みから、本当に副作用が出て しまう現象のことですが、例えばスタチ ン系薬剤に関連する筋肉痛などの有害事 象は、その多くがノセボ効果によるもの ではないかと言われています(PMI D: 28476288)

また、抗うつ薬に関する143件の臨床 試験データを用いて、三環系抗うつ薬プ ラセボと、選択的セロトニン再取り込み 阻害薬(SSRI)プラセボの有害事象を 比較した研究(РМІ D:19810776)が 報告されています。三環系抗うつ薬は、

💂 http://www.medisere.co.jp 🕒 http://twitter.com/Medisere 📑 http://www.facebook.com/medisere

SSRIに比べて抗コリン作用が強く、 口渇や便秘など有害事象リスクが高いと 考えられますが、この研究でも、SSR Iプラセボと比べて、三環系抗うつ薬プ ラセボで、口渇が3.5倍、傾眠が2.7倍、便 秘が2.7倍多いという結果でした。同じ プラセボにもかかわらず有害事象のリス クに差が出るのは、少なからずノセボ効 果が影響しているといえるでしょう。

前回もお話したように、薬の効果 (Effectiveness)は、その有効性にしろ、安 全性にしろ、薬剤の厳密な効能(Efficacy) だけがもたらしているわけではありませ ん。プラセボ効果やノセボ効果の存在は、 薬剤効果に関して、医療者による情報提 供のあり方を見つめ直す、良いきっかけ になるはずです。

